

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	教育センター所長	市川 昇一郎
教育-37	実施事業	教育情報事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 教育センター
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等
意図	郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図るため。
効果	児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市内小・中学校の郷土学習の学習資料を作成し配布した。 「かまくら子ども風土記」を発行(販売)し、情報の提供を行った。 教育情報の収集・提供を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,454	1,980	当初予算(千円)	5,899			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	1,454	1,980	一般財源	5,899			
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0			
事業経費運営	人件費(千円)	7,643	7,748	人件費(千円)	7,886			
	総事業費(千円)	9,097	9,728	総事業費(千円)	13,785			
	市民1人当りの経費(円)	51	55	市民1人当りの経費(円)	78			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	平成30年度に「かまくら子ども風土記」を10年ぶりに改訂発行するため、研究会を立ち上げ専門家の助言を受けながら改訂作業を進めている。その他の郷土学習資料についても内容の見直し等を随時行い、情報提供を行っている。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成30年度に「かまくら子ども風土記」改訂版発行予定。改訂作業に係る謝礼印刷製本費等が必要となる。「かまくら子ども風土記」は販売することにより財源は充当される。		
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の郷土学習に活用するために、理科・社会科の学習資料を作成し、毎年配付している。また、研究研修会の内容をDVD化し、教職員等に向けて情報提供を行っている。 平成29年度は「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、作業に着手した。 「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行っている。 平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第3巻(仮称)」刊行準備委員会にて資料収集を行っている。
-------------------	--

<p>平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)</p>	<p>「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向けた準備を行う。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行う。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第3巻(仮称)」刊行準備委員会にて資料収集を行う。</p>	
<p>課題解決のために行った平成29年度の取組</p>	<p>・平成29年度から「教育課題研究会」にて、「かまくらっ子の意識と実態調査研究」第11集の発行に向け、作業に着手した。 ・「教育資料研究会」にて、「かまくら子ども風土記」第14版刊行に向けた改訂作業を行った。 ・平成の鎌倉市の教育を概観すべく「鎌倉教育史第3巻(仮称)」刊行準備委員会にて資料収集を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決</p>
<p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p>	<p>・「かまくら子ども風土記」14版及び「鎌倉教育史第3巻(仮称)」の発刊。 ・児童生徒向け学習資料のデジタル化について検討していく。 ・「鎌倉教育史第3巻(仮称)」刊行準備委員の増強。</p>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

<p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p>	
-----------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位	指標の傾向			備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

<p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p>	
------------------------------	--